

社会環境学部 環境・自然再生コースカリキュラム(履修モデル例)

社会環境学科

防災・地域安全コース

2年次より選択

工学・社会科学の視点から防災・地域環境問題について学び、知識と実践的な技術を身につける

人の命と社会の安全を守る知識・技術

防災・減災などの、人の命と社会の安全に関する知識や技術を学びます。

ヒトの視点から持続可能な社会を実現する

地域に即したテーマで、ヒトの視点から持続可能な社会を実現するための社会の仕組みの構築について学びます。

Curriculum カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
	<p>全学共通科目の学修と大学でのリテラシー能力を高めます。また、環境・防災の専門基礎を学び、コースを選択します。</p>	<p>専門基礎科目と選択したコース専門科目を中心に学修します。そして、3年次以降の研究分野を検討、選択します。</p>	<p>コース専門科目をより深く学びます。3年次ゼミでは、4年次の卒業研究の基礎を検討します。</p>	<p>専門教育を一層深め、指導教員の下で卒業研究を完成させます。環境・防災の課題解決能力を養います。</p>
<p>専門基礎科目</p> <p>コース専門教育科目の導入として、「環境」および「防災」分野の歴史と理論、方法、基礎技術を修得します。</p>	<p>エコシステムⅠ・Ⅱ 防災学概論 環境教育実習 社会心理学 自然災害 環境教育論 自然体験実習</p>	<p>生物の系統と進化 都市計画 リスクの科学 地域データの分析 統計学基礎 環境社会学 地域社会学</p>	<p>社会調査の目的や意義をふまえたうえで、質問紙調査を中心に社会調査のプロセスや技術を理解し、実際の社会調査などで活用できるセンスと力を身につけます。</p> 	
<p>コース専門科目</p> <p>自然災害、公害、地球環境問題など地域の安全を脅かす「環境・防災」面での諸課題と、法制度など人間社会を支える仕組み(社会システム)との相互関係について幅広く学びます。</p>	<p>地震工学</p>	<p>地理情報システム 災害過程論 社会調査論 防災教育実習 防災行政論 環境行政論</p>  <p>卒業研究だけではなく実社会でも役立つ地理情報システムの基本操作を、実際の地域の課題(防災、環境問題、過疎化など)を示すデータ分析を通して学びます。</p>	<p>復旧・復興計画 災害福祉 先端環境防災研究 災害心理学 環境社会心理学 地域サステナビリティ特論 防災人間工学 災害医療システム 防災法制度 現代社会と安全 質的調査研究 防災社会情報論</p>	<p>環境防災調査法</p>
<p>他コース専門科目</p>	<p>生命の科学Ⅰ 富士山巡検 農地森林環境の再生 地域環境論 基礎化学実験</p>	<p>環境再生の方法 地球物質の科学 水文と環境Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>自然エネルギーの活用 水文学実習 環境浄化技術</p>	<p>自然環境と人間社会との相互関係や防災など持続可能な社会のあり方に関する研究テーマについて工学や社会科学の視点から研究指導を行い、卒業論文を完成させます。</p>
<p>総合演習科目</p>			<p>ゼミナールⅠ・Ⅱ</p>	<p>卒業研究Ⅰ・Ⅱ</p>

※カリキュラムは変更になる場合があります。